

令和4年度

事業報告書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月31日



社会福祉
法人

大阪市港区社会福祉協議会

管理運營部門

法人運営

- 港区社協だより発行 2回
区社協キャラクター「くしやきょん」を活用した会員募集や事業周知



2年ぶりの街頭募金



区社協だよりの発行
65号でみんなの居場所マップの作成

あんしんさぽーと事業

- 契約者数 96 名（新規 13 名）
内訳： 認知症高齢者（39 名） 知的障がい者（33 名）
精神障がい者（24 名） その他（0 名）
- 民生委員児童委員協議会委員長会、障がい者施設連絡会など各種会議及びいきいきサロンなど
地域のみなさまのつどいの場での事業周知

必要な方に、より迅速に支援が開始できるよう、待機期間の減少に努めるとともに、民生委員やネットワーク委員など地域の支援者や専門職の方に改めて事業の周知を図りました。早めの制度利用が有効であることから、いきいきサロンや地域のみなさまが集う場、老人福祉センターなどで、ＡＣＰと併せ、事業の理解普及に努めました。

地域福祉推進部門

地域福祉活動の推進

(1) 第3期港区地域福祉活動計画策定の支援

各地域、検討会議やワークショップなど4回～7回の話し合いを重ねて策定に至りました。報告会では、各地域の代表者から役員のみなさまと決定した計画について共有をおこないました。

地域	検討会議	ワークショップ 1回目	検討会議	ワークショップ 2回目	まとめ	報告会
波除	7月8日	7月12日	8月8日	8月23日 9月6日	12月12日	12月19日
弁天	7月12日	7月27日	8月18日	8月24日	10月18日	11月17日 11月22日 11月24日
磯路	3月16日 4月6日	6月3日	6月28日	7月1日	7月26日	9月2日
南市岡	7月14日 7月28日	8月2日	8月29日	9月2日	10月17日	11月17日
市岡	7月26日	8月3日	8月23日	9月8日	9月29日	11月21日
田中	10月19日	10月26日	12月8日	12月21日	1月10日	1月25日
三先		6月1日	7月5日	7月6日	10月5日	11月2日
池島	12月3日	12月7日	1月10日	1月17日	2月2日	2月14日
八幡屋	10月23日	11月9日	11月25日	12月19日	1月31日	2月18日
港晴		6月29日	7月25日	7月28日	8月25日	12月15日
築港		7月7日	8月4日	8月8日	9月21日	10月6日



感染対策をしながら、第2期活動計画の取組みを振り返り



策定された計画を地域役員の方から紹介

（２）地域福祉活動の支援

● 地区社協活動の支援

- ・ 地区社協会長会の開催 令和４年７月５日
「第３期地域福祉活動計画の策定について」、「区社協の新たな取り組み報告」、善意募金を活用した地域福祉活動の報告など

● 地域ネットワーク委員会活動の支援

- ・ ネットワーク委員長会の開催（毎月第２金曜日）
- ・ ネットワーク委員長・見守りコーディネーター合同研修
８月１９日 「港区障害者基幹相談支援センターについて」
講師：障害者基幹相談支援センター 北山 智美氏
内容：障害者基幹相談支援センターについての理解を深める。



ヤングケアラーについての講演会
(右：黒光氏)



合同研修会
「港区障害者基幹相談支援センターについて」

- ・ ネットワーク委員会・民生児童委員協議会合同研修
「つながり合える地域みんなと（港）～気づいてほしい、わたしたちのこと～」
９月１日（金） 107名参加 区社協・区民センター・区役所で分散してオンラインで開催
講師：尼崎市スクールソーシャルワーカー 黒光 さおり氏

● 実態調査に基づく小地域ごとの地域情報の整理

- ・ Happy システムを活用し、全地域の地域情報や地域資源などについての情報を整理

● 定期的な事例検討会の開催

- ・ コミュニティワーク事例検討会の実施 ２回
講師：佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 金田 喜弘 氏

（３）子育て支援と青少年、児童、障がい者（児）のための福祉活動

● 港区みんなと子育てしチャオ会（子育て支援連絡会）の運営

- ・ みんなと子育てしチャオ会（子育て支援連絡会）の開催 12回
- ・ 子育て支援情報誌「みなときっず」の発行 4回
- ・ 研修 「外国人親子への支援」
12月14日 29名参加
講師：Minami こども教室 副実行委員 古賀 依枝 氏

- ・ 未就学児の保護者の方がいきいきと子育てができる港区をめざすことを目的に各種イベントを開催

「公園あそびしチャオ！」 5月20日 35名参加

「公園あそびしチャオ！」 10月18日 54名参加



5月20日
「公園あそびしチャオ！」



10月14日
「公園あそびしチャオ！」



12月14日
「外国人親子への支援」

● こどもの居場所実施団体との連携および情報共有の実施

『港区みんなの居場所』MAPの作成。MAPの作成を通じてこどもの居場所実施団体と活動内容を把握。集約した情報を港区社協だより65号へ掲載し情報を発信。

● 障がい者団体への活動支援

- ・ 区自立支援協議会への参画 4回
- ・ 港区障がい者施設連絡会（ポートネット）への参画 11回
（毎月実施されており、1回はコロナウイルス感染拡大防止のため中止）

（4）福祉教育の実施

区内の小中学生をはじめとする地域のみなさまに対し、地域で暮らす高齢・障がい者への理解を深めるために、障がい当事者や地域役員のみなさまの協力を得て福祉教育を実施。

- ・ 福祉教育についての説明資料「福祉教育のススメ」を作成し校長会にて説明
- ・ 小中学校への出前授業の実施 小学校6校、中学校2校 延べ14回
- ・ 福祉教育DVDを活用した福祉教育の実施 小学校0校、中学校2校 延べ2回
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施 小学校1校、中学校2校 延べ3回



盲導犬ユーザーとの交流



当事者による認知症サポーター養成講座



車いすユーザーによるお話

その他、手話体験、車いす体験、高齢者疑似体験、など

(5) 区社会福祉施設連絡会の運営

- ・ 幹事会 5月20日 オンライン開催
3月1日 港区社会福祉協議会にて実施
- ・ 総会 7月8日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
- ・ 研修会 「社会福祉施設の公益的な取り組みの推進—コロナ禍での調査結果と実践事例から—」(オンデマンド配信)

(6) 港区キャラバン・メイト連絡会の事務局

キャラバン・メイト連絡会を実施し、定例会の開催、認知症サポーター養成講座の開催に向けた支援を行った。

- ・ 港区キャラバン・メイト連絡会定例会
オンラインによる開催12回
- ・ 認知症サポーター養成講座 6回
(内1回はオンラインを活用したハイブリット方式で実施)
サポーター養成数 約330名
※令和5年3月現在 累積約5,330名
小中学生をはじめとする地域のみなさまなどを対象に実施



中学校での養成講座の実施

(7) 「地域福祉活動の見える化」広報・情報発信の充実

- ・ ホームページ・SNSによる情報発信(くしゃきょん日記・Facebook・公式LINE等)
- ・ 区社協キャラクター「くしゃきょん」を活用した周知活動の実施
- ・ 広報紙「区社協だより」の発行(年2回) 64号 38,000部、65号 38,000部

(8) その他

● みなとふれあい福祉のひろばの開催 3月4日、港区民センター、参加者：約480名

「第16回みなとふれあい福祉のひろば」を、感染対策として一定の制限を設けた上で4年ぶりに区民センターで開催。区内の福祉施設や団体などとともに実行委員会形式で企画・運営を行い、ボランティアグループや福祉施設による舞台、展示、体験などのコーナーを設けた、福祉啓発を目的としたイベントを実施。

● みなとこころの講座 12月14日、港区役所、37名参加

「聞いてみよう高次脳機能障がいのこと」講演会 講師：なやクリニック医師 納谷 敦夫 氏



こころの講座「高次脳機能障害について」



みなとふれあい福祉のひろば

● **手話奉仕員養成講座（手話講習会）の開催 全 38 回 参加 35 名、終了者 21 名**

● **車いす貸出事業**

車椅子、高齢者疑似体験セット、プロジェクターなど 計 150 回の貸出し（昨年 114 回）

● **共同募金配分金による事業運営・地域福祉活動団体への支援**

・配分金 4,698,951 円地域福祉活動団体へ配分（障がい者団体等への助成 30 件）

・「ひとり親家庭応援プロジェクト！」の実施 9 月 4 日、港区民センター

「ひとり親世帯への食料支援」を目的に集まったテーマ型募金 316,000 円を活用し、ひとり親家庭 105 世帯へお米券の配布を実施。ボランティアや企業・関係機関と協力し、相談ブースやカフェスペースなどを設けて開催。



手話奉仕員養成講座



ひとり親家庭応援プロジェクト！

● **みなと介護家族の会「かもめ会」の事務局**

・定例会 10 回

・総会 6 月 15 日 交流会「体操」新家 浩二氏

・研修、交流会 3 回

10 月 26 日 「がんばらない介護」講演会

介護メンタルケア協会代表 橋中 今日子氏

12 月 7 日 「体のことを知ろう内臓編」

住まいと介護研究所所長 谷口 昌宏氏

3 月 29 日 お花見



「がんばらない介護」講演会

● **社会福祉士養成等実習生の受け入れ**

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 3 回生 1 名受け入れ

大阪大学医学部 4 回生 3 名受け入れ

新型コロナウイルス感染対策をしながら、11 地域延べ 68 回のワークショップを重ね、第 3 期地域福祉活動計画が策定されました。ワークショップの中では、これまでの地域福祉活動を振り返っていただくことで、改めて地域福祉活動の意義を感じていただく機会となりました。

世代を問わない孤立や災害時を見据えた普段からのつながりづくりなど、11 地域ごとに特徴ある計画ができました。

地域福祉活動の場にできるだけ出向き、活動状況の把握とともに、フェイスブック等での情報発信、地域福祉活動の見える化に努めました。

令和 5 年度は、各地域における地域福祉活動計画の推進に向け、後方支援に取り組めます。

港区ボランティア・市民活動センター（fuku cafe）の運営

（１）港区ボランティア・市民活動センターの運営

- 運営委員会の開催（年２回）
第１回：７月８日、第２回：２月１０日
- 作業部会の開催（月に１回）

（２）ボランティア養成・スキルアップ

- ボランティア養成講座の開催（夏のボランティア体験）
☆ぷち☆夏のボランティア体験 規模を縮小し開催
- ボランティア交流会の実施（３月１７日） 計４１名参加



ボランティア交流会



☆ぷち☆夏のボランティア体験

（１）ボランティア・市民活動の支援

- ボランティア・市民活動における相談・支援
- 港区ボランティア・市民活動センタースペースを利用した活動支援
 - ・ café de ひまわり（喫茶月１回、コーナー企画など） 喫茶 １０回
プチイベント：じゃんけん大会、クリスマス会、夏祭り、ブックカフェ
 - ・ カフェナカ企画（ボランティアや企業等による強みを活かしたプチ講座など ２回
消しゴムはんこ（港弁天郵便局 池山局長）
- 助成金「福祉ボランティア応援資金」の交付 実績 375 千円（13 グループに払出）
- ボランティア保険取扱窓口 受付件数 429 件



cafe de ひまわり



カフェナカ企画
（消しゴムはんこを作ろう）



施設からのボランティア依頼

(4) ボランティアマッチング

- 援助活動依頼の受付・調整紹介 64 件
- 活動希望者の登録・紹介 26 件
- 受給ニーズ及び社会資源の把握・活用
- 関係機関・団体との連携 14 件

(5) 災害時に備えての取組み

- 災害対策委員会の開催 1 回
- 区社協内 防災初動対応研修 1 月 28 日
- 防災マルシェ（災害ボランティアセンター体験ミニツアー） 3 月 11 日



1/28
防災初動対応研修

(6) 団塊・シニア世代の地域活動参加促進事業の実施

- 「男の料理教室」（年 1 回） 12 月 6 日
- ゆうゆうクラブ（団塊世代の男性ボランティアグループ）の活動支援 12 回

(7) 企業の地域貢献・企業の社会的責任の支援

- 地域貢献希望団体・企業の相談・支援・マッチング
 - ・ NPO 法人 グッド・ネイバーズジャパン
 - ・ 大阪信用金庫 社会貢献

(8) 啓発・広報・調査研究

- ボランティア活動情報紙「ひまわりのたね」の発行
 - ・ 年 6 回発行（奇数月） 発行部数 各 4,000 部
- 区社協ホームページ・SNS での情報発信 公式 L I N E、フェイスブックの活用

「誰もが主役になれる場所」をモットーに、港区ボランティア・市民活動センター fuku café（ふくかふえ）を拠点に、様々な活動ができるようにボランティアや市民活動者の後方支援に努めました。また令和 4 年度は新型コロナウイルスが猛威を奮ってから 3 年目ということで社会情勢を見つつ、ボランティアや市民活動を止めないことを意識した後方支援にも努めました。「不要不急」が求められたなかボランティア活動が停滞し、活動の再開には想像以上のパワーが必要でしたが、オンラインなどではなく対面での活動に向けて工夫を凝らし、つながり合う大切さを再認識してもらう年になったと思います。令和 5 年度は、施設からのボランティアに関する問い合わせも増加傾向にあるため、様々な可能性を考慮してその人に合ったボランティア活動を支援できるように心掛けたいです。

生活支援体制整備事業の受託実施（生活支援コーディネーターの配置）

● 港区社会福祉協議会公式 LINE アカウントの作成

港区の地域情報を幅広く周知するために、公式 LINE アカウントを作成。
最新の地域情報や地域・区社協での行事を周知する媒体として活用。



LINE 公式アカウント

● 生活支援体制整備事業協議体の開催

年 36 回※

区内の福祉施設専門職・地域のみなさま・行政が主体となり、生活課題や介護予防の場づくりについて検討。

企業や福祉施設の方と共に地域課題について「できること」を検討。

ワーキングでは、地域課題や地域の居場所についての情報交換。

※本会議 2 回、ワーキング 34 回（合同研修「港区障害者基幹相談支援センターについて」含む）



3/6 第2層協議体



3/16 第1層協議

● 団塊・シニア世代の地域活動参加促進事業の実施

- ・ 男の百歳体操（月 2 回）
- ・ 「男の寄り合い場」（年 1 回） 5/26 「新聞の読み合わせしチャオ会」
- ・ 「男の料理教室」（年 1 回） 12/6 「手打ちうどん」
- ・ ゆうゆうクラブ（団塊世代の男性のボランティアグループ）の活動支援 11 回



男の料理教室
「手打ちうどん」



ゆうゆうクラブ
「ライフサイクルゲーム」

● 有償たすけあい活動の運営

・「住民の助け合い活動による生活支援事業」

大阪市介護予防ポイント事業の枠組みを活用した要支援者等に対して生活支援活動を提供する活動支援

※利用にあたっては、利用者が1回100円を活動者に支払う。

(他に介護予防ポイント【6P=600円】が活動者に付与される)

介護予防ポイント登録研修 4回開催

活動登録者 11名 利用会員 2名

活動件数 年間60件

活動内容 買い物・移動介助など



つながりネットのチラシ

・「くしゃきよんのつながりネット」

区社協独自で行っている有償ボランティア活動支援

※利用にあたっては、30分300円を活動者に支払う

有償たすけあい講座 3回開催、新規活動登録者 10名

活動登録者 60名 利用会員 87名

活動件数 年間498件(月平均41件)

活動内容 送迎、話し相手、軽作業、植木の伐採、掃除など



有償活動(買い物)の様子

● 資源開発・拡充・継続の支援

開発6件、拡充4件、継続8件、講座28件



ポッチャサークル立ち上げ



スマホ講座の実施



いきいきサロン
「昔を思い出そう」

港区で安心していつまでも元気に暮らすための生活支援・介護予防を推進してまいりました。令和4年度は再開や新たな立ち上げの相談を受けることが多く、「ポッチャサークル」や「百歳体操」、「野菜の移動販売」などの通いの場の立ち上げ支援を行いました。周知媒体にも力を入れ、「港区社会福祉協議会公式LINEアカウント」を作成し、港区社会福祉協議会や地域で実施している活動について手軽に確認いただけるようになりました。また、有償たすけあい活動「住民の助け合い活動による生活支援事業」の充実を図るため、わかりやすいチラシを作成し既存の「くしゃきよんのつながりネット」とともに、よりきめ細やかな生活支援ニーズへの支援を行いました。今後も関係機関との連携強化を図りつつ地域のみなさまと共に通いの場の取り組みを推進していきたいと思っております。

地域と連携した見守りネットワークの強化

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業（見守り相談室）

● 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備、未回答者への訪問

- ・令和4年度 新規対象者 947名 回答数 431名（同意 336名、不同意 95名）
- ・現在までの対象者数 4,493名（同意者 2,781名、不同意者 981名、未回答 731名）
- ・地域見守りマッピングの推進など 2地域が新たにマップ作成（その他、5地域が更新）

● 孤立世帯等への専門的支援

対応数 延べ3,423件（訪問 732件、電話 1,623件、来所 991件 その他 77件）

- 相談内容
- 【本人】引きこもりの方。同居の母親が他界し生活が立ち行かなくなり、今後どうしたらいいか相談したい。
 - 【NW委員】近くに住んでいる60歳男性について相談したい。糖尿病を患っており足のくるぶしの辺りの傷から一時期骨が見えていた。視力も悪く心配である。
 - 【民生委員】地域食堂にお金を持たずに来た小学生がおり、無料で食事を提供した。母親と思われる人も来ていたが家庭の状況が気になる。
 - 【警察】行方不明者で保護した方であるが、同居の家族にも気になるところがある。訪問時に様子を気にかけてほしい。
 - 【住宅管理会社】
管理している物件に住んでいる独居高齢者。退職したことにより人とのつながりが希薄になってしまった。身寄りもないため、近隣の方々とつながりや見守りが必要だと思う。地域とつないでいただきたい。
 - 【就労B作業所】
作業所に通っている方について、最近記憶力の低下がみられる。弟と同居しているが、弟もしんどくなってきており生活面や体調が心配である。

- ・オンライン講演会 つながり合える地域 港（みんなと）～気づいてほしい わたしたちのこと～
テーマ：ヤングケアラー 講師：スクールソーシャルワーカー 黒光 さおり 氏
- ・居場所づくり会議 ひきこもりなどで孤立していたり社会参加の機会が少ない方が安心して過ごせる場の提供。（野菜作り、散歩、ゲーム遊びなど）



じゃがいも



二十日大根



クリスマスカードづくり

- ・相談支援機関連絡会（みなまるねっと）への参画（年6回）

● 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見ネットワークの構築「ひまわりじゃらん」

- ・見守り協力事業者 新規登録 27 事業者（累計 380 事業者）
 ひまわりじゃらん事前登録者 新規登録 45 名（累計 102 名）
- ・行方不明者メール配信 3 回
- ・ひまわりじゃらん見守り協力事業者情報交換会
 開催地域：8 月 波除地域と三先地域、2 月 市岡地域と築港地域

民生委員児童委員協議会と共催で「つながり合える地域 港(みんなと)～気づいてほしい わたしたちのこと～」をオンラインと会場で並行して実施しました。テーマを「ヤングケアラー」とし、若い世代への気づきの視点と地域の見守りや居場所の重要性について、改めて地域活動者のみなさまと考える機会としました。

また、地域見守りマッピングについては「つながりづくり」を途絶えさせないようにコロナ禍でも実施できる方法を地域のみなさまと模索し実施いたしました。マッピングを通じて、災害時を見据えた日頃からの見守りが重要であることを地域の中で再確認することができました。

令和３年度に引き続き生活困窮者自立支援事業と協働し「居場所づくり会議」を実施しています。今まで外出の機会が少なかった方も継続して来られるようになったり、参加者同士の交流の広がりがみられるようになっています。

今後も関係機関との連携強化を図りつつ地域のみなさまと共に取り組みを実施してまいります。

（２）港区地域福祉サポート事業の受託運営

● 地域見守りコーディネーターとの連携による要援護者の個別支援のためのコーディネート活動

- ①地域住民にいちばん身近な相談者としての「地域見守りコーディネーター」の配置

- ②福祉専門職との連携やつなぎ 相談支援件数 約7,600件

- ③地域見守りコーディネーター連絡会 毎月第3木曜日開催

- ・各地域の情報交換、事例検討
- ・ネットワーク委員長との合同研修（障がい者理解、ヤングケアラーの勉強会など）

- ④各種研修や地域ケア会議、包括運営協議会、協議体（生活支援体制整備事業）への参加

- ⑤事業周知（各地域ネットワーク委員会での周知など）



くらしサポーター（左）による
差し入れの様子

● 支え合いのためのマッチングシステムの運用

- | | | |
|------------------------------|--------|------------|
| ①見守りコーディネーターによる「くらしサポーター」の発掘 | サポーター数 | 299 名 |
| ②「くらしサポーター」への活動依頼や活動報告の受付 | マッチング数 | 約 52,000 件 |

● 地域での見守り強化の推進「見守り協力事業者の登録拡充」

- 見守りコーディネーターによる「見守り協力事業者」の発掘 登録数 303 事業者

生活福祉資金貸付事業

● 世帯の自立や生活の安定のための貸付にかかる相談

資金種別	電話	来所・訪問
福祉資金	125 件	64 件
教育支援資金	143 件	75 件
緊急小口資金	113 件	75 件
総合支援資金	37 件	23 件
新型コロナ特例貸付	680 件	604 件
償還等フォローアップに関する相談	572 件	363 件

介護予防事業

- (1) 大阪市介護予防事業 いきいきサロン 月 1 回
17 会場 述べ 203 回 2017 名
- (2) ひまわり健康教室 4 月～9 月 週に 2 日 4 教室を開催 (43 日) 述べ 86 回 287 名
10 月～3 月 週に 1 日 2 教室を開催 (25 日) 延べ 50 回 226 名

通所介護事業（港区在宅デイサービスセンターひまわり）

(1) 地域密着型通所介護・予防通所介護事業の運営

延べ年間利用者数 3,572 名
新規登録者数 9 名
平均介護度 1.8
平均年齢 84.5 歳（男性 81.5 歳 女性 85.6 歳）

- 口腔機能向上サービス
- レクリエーション

個別訓練メニューの実施（日常動作訓練など）、
手作業（切り絵、ちぎり絵、折り紙）
リラクゼーションメニュー
お誕生日会、お花見、夏祭り、
運動会、演芸大会、クリスマス会、忘年会（鍋）、節分厄除け



ひまわり劇団による
フラダンス



みんなで満開の桜を満喫しました

● 運営推進会議の開催（①令和 4 年 8 月書面開催、②令和 5 年 3 月書面開催）

- (1) 事業所による「抱え込み」を防止し、サービスの質の確保と地域に開かれた事業所であるため、利用者・地域住民の代表者・地域包括支援センターの職員などに対し、事業運営の内容や提供しているサービスの内容等について報告、意見交換などを実施

(2) 港区デイ事業者連絡会の運営（事務局）

デイサービス・デイケアの事業所施設相互の情報交換・連携を目的に開催

※ 新型コロナウイルス感染予防のため総会など、中止

(3) 福祉教育等への協力

職場体験学習や実習生の受け入れなどに協力

※ 新型コロナウイルス感染予防のため中止

(4) いきがい活動の場を提供（ボランティアグループの受け入れ）

ボランティア活動等の場を提供し、他の地域活動への参加の拡充を図る。

※ 新型コロナウイルス感染予防のため原則受け入れ休止

新型コロナウイルスへの感染対策を徹底しながらも、できる限り利用者さまに寄り添いながら、家庭的な雰囲気を感じていただけるようなプログラムの実施に努めました。令和3年度からは、ご利用者さまの得意を活かした活動に取り組んでいただけるよう、「園芸部（プランターで花や作物を栽培）」、「手芸部（小物やパッチワークの作品づくり）」などのサークル活動を取り入れています。

また、新型コロナウイルスの影響がありながら、近年の課題であった利用者数の増加とともに、収益性も改善傾向にあります。

今後も利用者さま、家族のみなさまに満足していただけるサービスの提供と経営の安定化に努めてまいります。

地域包括支援センター部門

地域包括ケアの推進

港区地域包括支援センター 担当圏域（波除・弁天・磯路・南市岡・市岡・田中）

高齢者人口：13,105人 高齢化率 24.7%（港区 28.7%）

新型コロナウイルス感染拡大防止の必要な対策（基本的予防策や会議、研修会のオンライン開催など）を講じながら、地域や関係機関と連携、協働し「認知症高齢者を地域で支えるネットワークづくり」などの地域課題の対応に取り組みました。今後、「身寄りのない高齢者を地域で支えるネットワークづくり」や「相談支援機関と地域の連携による見守り体制の構築」「その人らしい生活を支えるための権利擁護への理解を深める活動」、など地域課題に対応する取組みの強化を図ります。

- **総合相談** 延べ 7,785 件（前年度 6,842 件）
うち認知症に関すること 延べ 2,813 件（前年度 2,511 件）
相談実人員 935 人、相談経路（本人 260 件、家族 267 件、ケアマネジャー 137 件 他）
- **権利擁護・高齢者虐待防止**
通報・相談件数：14 件（6 件が虐待認定） サービス利用調整会議への参加 43 回
虐待に関する相談 340 件 成年後見制度の活用に関する相談 327 件
- **地域ケア会議**
（複合課題のあるハイリスク家族の共有や早期介入のための支援システム構築）
個別ケース：23 回 地域課題抽出：1 回
うち個別ケースの 1 回は総合的な支援調整の場『つながる場』と共催
自立支援型ケアマネジメント検討会議 大会議 6 回 小会議 6 回



1月18日
課題抽出のための地域ケア会議



家族介護教室の動画配信
・車いす介助編

- **認知症高齢者支援の取り組み**
認知症施策推進事業との連携、認知症学ぼう会（9/20）、専門職向け講演会（11/16）
一般向け講演会（12/14）
波除（8/3）、市岡（2/15）見守り協力事業者情報交換会への参画
- **専門機関との連携強化**
・認知症総合支援事業 ・在宅医療・介護連携推進事業 ・生活支援体制整備事業との連携
・相談支援機関連絡会（みなまるねっと）の実施（年 6 回）
- **ケアマネジャーの後方支援**
港区内 30 事業所のうち 18 事業所が港区地域包括支援センター圏域
居宅介護支援事業者連絡会（ケアマネポート）加盟数 40 事業所（個人会員 8 ヲ所）
包括的継続的ケアマネジメント ケアマネジャーからの個別相談件数 延べ 1,537 件
- **地域との関係づくり**
地域の行事に出張相談などの実施 参加 115 回、港区地域福祉活動計画策定への参画など

老人福祉センター部門

1. 老人福祉センターの指定管理運営

港区高齢化率 27.7%(大阪市平均 25.5%) 令和2年国勢調査

- 登録者数 245 名 利用者数 延べ人数 8,598 名 (1 か月平均 717 名)
- **高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進**
「教養講座」異文化交流 (2 回 11 名) 終活講座 (5 回 56 名) 免許返納講座 (6 名) AED 講習会 (4 名)
「生きがい探求」家庭菜園講座 (5 回 16 名) 「その他」消防訓練 (2 回 23 名) 避難訓練 (19 名)
「生きがいづくり事業」センター杯将棋大会 (14 名) 王将リーグ戦 (延べ 215 試合)
サークル・同好会活動 15 のサークルが登録 実施回数 287 回 2,771 名が参加活動
- **健康づくりと介護予防の促進**
介護予防事業 いきいきサロン (12 回 128 名)
健康講座 (5 回 61 名) 結核検診 (1 回 11 名)
歌体操・すわろピクスなどのサークルが介護予防を目的に活動
- **高齢者同士の相互支援**
つながりを持つための手段を身につける スマートフォン・ZOOM講座 (3 回 22 名)
「生きがいづくり」作品展示会 (134 名) 盆踊り大会 (51 名) お誕生日会 (6 回 60 名)



百歳体操助言指導 (健康指導士)



終活講座 (エンディングノート)



赤レンガ倉庫ウォーキング



ポッチャ

2. 「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」の業務委託

2. 「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」業務委託

- **社会的孤立感の解消、自立生活を目的とする定期的な体操・運動の実施**
毎週木曜日・金曜日いきいき百歳体操 計 176 回 延べ 1,397 名参加
百歳体操の助言・指導 (健康指導士) (前期 2 回 22 名 後期 2 回 19 名)

● **他の介護予防に資する事業、健康増進**

介護予防として、若手外国人と異文化・多文化、世代間交流を実施（計2回 11名）

介護予防「歯周病と全身疾患の関わり」（1回 9名）「骨・カルシウムセミナー」（2回 26名）

健康づくり「天保山エリアウォーキング」（2回 14名）「ボッチャをやってみよう」（2回 25名）

コロナ禍、医療非常事態宣言等で事業・計画中止があったものの、「感染拡大防止」をミッションに「安全・安心」を心がけた対策を実施しながら、できる範囲でつながる、つなげる方法を探り、事業を実施しました。また館長自ら講師となり、親しみやすい事業運営をめざしてまいりました。年間をとおして、代表者連絡会では各サークルの情報交換、意見・要望などの話しあいを行い、利用者の声を大事に、円滑な活動につながるよう調整してまいりました。令和5年度も利用者と「顔の見える関係」を大事にしながら運営してまいります

別表1 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

	相談件数	委任契約締結 件数	委任契約終了 件数	年度末利用 件数
認知症高齢者など	2,745 件	9 件	12 件	39 件
知的障がい者など	2,544 件	1 件	2 件	33 件
精神障がい者など	1,895 件	3 件	2 件	24 件
そ の 他	36 件	0 件	0 件	0 件
合 計	7,220 件	13 件	16 件	96 件

別表2 港区ボランティア・市民活動センター活動報告

① 登録（R5.3月 現在）

個人登録		グループ登録		市民活動・企業登録
令和4年度 新規登録者	令和4年度 登録者総数	令和4年度 新規登録グループ人数	令和4年度末 登録グループ総数	令和4年度登録
9名	60名	0グループ	36グループ	新規0グループ 13団体

② 港区ボランティア・市民活動センター 運営委員会

	開催日
運営委員会（2回）	7/8, 2/10
作業部会（9回）	4/20、5/18、6/14、9/9、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15

③ 活動に関する相談・対応件数等

ボランティア・市民活動に関するもの等（問い合わせ分）		ボランティア活動状況（ボランティアからの報告）	
ボランティア紹介	相談・情報提供	ボランティア活動回数	延べ活動人数
26件 （36グループ）	64件	782回	3671名

④ ボランティア養成事業

事業名	日程	回数	人数
手話奉仕員養成講座 「手話でコミュニケーション♪」 （大阪市聴言者協会と共催）	4/14～2/16	38回	35名
一日体験講座 「手話でコミュニケーション♪」	3/11	1回	11名
☆ぷち☆夏のボランティア体験	7/22, 8/17、8/23 8/26、9/3、9/8 8/17～8/19（中止）	6回	10名

⑤ボランティア活動支援事業

事業名	日程等
ひまわりのたね編集部定例会（毎月）	12回
ボランティア研修・交流会（5月）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
団塊・シニア世代グループ定例会（第2水曜日）	4/13、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/9、12/14、1/11、2/8、3/8 <u>11回</u>
子育て支援ボランティア交流会（第2水曜日）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
登録ボランティア交流会	3/17 区民センター（対面より） 健康タオル体操、事務連絡、ボラセンからのお知らせ、グループワーク
福祉ボランティア応援基金	①津軽三味線民謡みおの会②ダンボの会③ゆうゆうクラブ④パソコン苦楽部⑤フラサークルレファ ⑥子ども未来応援団 ⑦かたりの会 さざなみ ⑧絵本の会みなと ⑨歌って踊って絆会 ⑩和太鼓 隼 ⑪こどもたちの笑顔をつなぐ会 ⑫人形劇 えぷろん座 ⑬手話サークル 帆船 13グループに払出(2月下旬～4月末の募集、6月末払出)
ボランティア保険・市民活動行事保険等の受付	随時
cafe de ひまわり（毎月第3水曜日）	4/20、5/18、8/17、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/15 <u>10回</u>
おもちゃ相談室（毎月第4火曜日）	4/26、5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25、11/22、12/27、1/24、2/28、3/28 <u>12回</u> (おもちゃの修理をする「おもちゃ病院」の出張所)
パソコンで楽しもう♪（毎月第2・4木曜日）	4/14、4/28、5/12、5/26、6/9、6/23、7/14、7/28、10/13、10/27、11/10、11/24、12/8、12/22、2/9、2/22、3/9、3/23 <u>18回</u>
バルーンアート教室（毎月第4金曜日）	7/22、8/26、3/24 <u>3回</u> (バルーンアートの作り方を学ぼう)
折り紙教室（毎月第4月曜日）	コロナウイルス感染拡大防止のため、中止
カフェナカ企画(不定期)	6/22、11/29「消しゴムハンコを作ろう」 <u>2回</u> (さまざまなボランティアさんの活躍の場)

⑥啓発・広報事業、協働事業

事業名	内容・人数等
第19回みなとこころの講座「聞いてみよう高次脳機能障がいのこと」（ピアみなと他共催）	12/14 37名（精神障がい者などに関する地域の啓発講座）
港区みんなと子育てしチャオ会イベント（子育て支援関係機関11団体）	公園遊びしチャオ 5/20 35名 10/14 54名
福祉教育 （小学校6校、中学校3校）	①池島小（車いす体験と高齢者擬似体験）6/8 ②田中小（盲導犬）10/25 ③市岡中（車いす体験）11/10 ④築港中（車いす・車いすツインバスケット体験）11/7・11/17 ⑤市岡中（防災教育）11/16 ⑥南市岡小（車いす体験・手話）11/21 ⑦弁天小（まち探検）11/22 ⑧波除小（車いす体験）11/29 ⑨築港中（認知症サポーター養成講座）12/2 ⑩市岡中（認知症サポーター養成講座）12/15 ⑪南市岡小（盲導犬）12/21 ⑫田中小（車いす体験） ⑬築港小（車いす・手話・認知症サポーター養成講座）2/14 ⑭築港中（視覚障がいについて）2/24 （包括支援センター、ボランティアグループ、見守りコーディネーター、ネットワーク委員、主任児童委員、民生委員とともに関わる）
みなとふれあい福祉のひろば	3月4日、感染対策として一定の制限を設けた上で、港区民センターにて「第16回みなとふれあい福祉のひろば」を開催。参加者：約480名が来場。ボランティアグループや福祉施設による舞台、展示、体験などのコーナーを設けた。
区社協だより（広報紙）	ボランティア・市民活動センターだより（グループ紹介）掲載 8月中旬・2月上旬発行
活動情報紙「ひまわりのたね」	5・7・9・11・1・3月の年6回発行 各4000部
区社協ホームページ掲載	フェイスブックによる告知、ブログによる報告、グループ紹介など
イオン黄色いレシートキャンペーン参加	①ワークみなと ②マーガレット工房③NP0法人ラッキーセサミ ④あゆみ作業所 （大阪ドーム店にて毎月11日各グループポスター掲示）

⑦その他（災害ボランティア）

社協内での災害ボランティアセンター設置訓練の実施	なし
--------------------------	----

別表3 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業報告

(1) 機能①「要援護者情報の整備・管理」

ア 郵送による同意確認

発送地域	新規対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
11 地域	711 人	425 件	59.77 %	333 件	92 件

イ 訪問による同意確認

訪問地域	新規対象者	回答数	回答率	同意件数	不同意件数
11 地域	236 人	6 件	2.54 %	3 件	3 件

(2) 機能②「孤立世帯等への専門的対応」

ア 相談件数

訪問(個別)	訪問(個別以外)	電話	来所	手紙・メール・FA	その他	合計
239 件	493 件	1,623 件	991 件	40 件	37 件	3,423 件

イ 相談実人員

相談実人員	性別内訳		
	男	女	不明
404 人	196 人	199 人	9 人

年齢内訳						
0～6	7～17	18～39	40～64	65～74	75～	不明
1 人	1 人	19 人	52 人	40 人	251 人	40 人

(3) 機能③「認知症高齢者等の行方不明時の早期発見」

ア 協力者

	協力者登録 数合計	協力者種別					
		本市事業 (高齢者支 援)を委託	介護保険制 度関係団体	医療関係 団体	地域関係 団体	民生委員 児童委員	その他
R4年度累積登録数	27 件	0 件	0 件	5 件	0 件	0 名	22 名
R5年3月末現在登録数	380 件	16 件	28 件	20 件	15 件	118 名	183 名

イ 登録者

	期末登録者	性別内訳		年齢内訳			
		男	女	65歳未満	65～70歳	70～75歳	75歳以上
R4年度累積登録者	45 名	15 名	30 名	0 名	0 名	5 名	39 名
R5年3月末現在登録者	102 名	39 名	63 名	1 名	1 名	4 名	96 名

(4) 警察からの発見保護情報

ア 月別保護者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
3	4	8	4	4	8	4	11	4	6	11	4
4	4	4	8	4	4	3	3	5	7	4	6
11	4	6	4	4	4	3	3	5	7	4	6
4	4	4	8	4	4	3	3	5	7	4	6

イ 地域別保護者数

波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	計
17	23	8	2	13	17	5	18	10	7	3	121
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
6	11	3	20	4	4	0	2	10	3	9	8
5	0	8	10	3	9	8	5	0	8	10	5
5	5	4	3	3	0	4	3	3	0	4	9
7	2	4	4	0	2	10	3	9	8	5	0
8	10	3	9	8	5	0	8	10	5	5	4
3	3	0	4	3	3	0	4	9	8	5	0

別表4

(1) 新規相談総件数

相談受付総件数
602 人

年齢内訳							
～10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65～	不明
7	80	81	84	107	40	135	70

相談経路 (重複あり)

本人(来所)	403件
本人(電話・メール)	62件
家族・知人(来所)	48件
家族・知人(電話・メール)	6件
アウトリーチ	0件
関係機関・関係者紹介	21件
その他	4件
不明	115件

港区地域福祉サポート事業報告

別表５－１ 要援護者の個別支援のためのコーディネート活動

①相談支援実人数

地域名	波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	合計
実人数	913	521	574	45	118	54	135	378	351	107	88	3284
性別	男	54	50	121	13	24	16	40	154	60	35	598
	女	859	471	453	32	94	37	95	224	291	72	2685
	不明	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

②相談支援件数

地域名	波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	合計
相談件数	906	1146	1022	102	390	100	135	337	847	1385	162	6,532

別表５－２ 支えあいのためのマッチングシステムの構築と運用

①くらしサポーター（提供者）登録者数

地域名	波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	合計
登録者数	27	18	37	19	25	25	44	44	24	21	34	318

②サービス依頼件数

地域名	波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	合計
依頼件数	1423	4152	311	6602	1747	2155	1939	9782	4030	981	719	33,841

③受け手と提供者とのマッチング件数

地域名	波除	弁天	磯路	南市岡	市岡	田中	三先	池島	八幡屋	港晴	築港	合計
マッチング件数	1423	4152	311	6602	1747	2155	1939	9782	4030	981	719	33,841

別表6－1 介護予防事業(全128回)延参加人数

実施地域	波 除	市岡 元町	弁 天	磯 路	南市岡	市 岡①	市岡②	田 中	夕 風
参加者	197	79	109	128	167	125	70	84	129
ボランティア	41	31	30	12	12	69	49	22	29
合 計	238	110	139	140	179	194	119	106	158
実施地域	老人 センター	三 先	池 島	八幡屋	港 晴	築港①	築港③	一条通り	合 計
参加者	129	179	58	127	94	153	102	87	2017
ボランティア		11		19	2	66	70	14	477
合 計	129	190	58	146	96	219	172	101	2494

別表6－2 ひまわり健康体操(全70日)延参加人数

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回数	10	16	14	16	16	14	
参加数	42	63	52	45	38	47	
実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
回数	8	8	8	8	8	10	136
参加数	42	38	33	35	37	41	513

デイサービス（通所介護）事業

別表 7-1 利用者数

登録者数 (年度末)	開設日数	年間利用 延人数	1日平均 利用人数	サービス内容・利用人数		
				送 迎	入 浴	給 食
35人	234日	3,330人	14.2人	3,330人	2,280人	3,330人

別表 7-2 介護度別登録者数（令和5年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3人	3人	10人	11人	4人	3人	1人	35人

地域包括支援センター事業

別表 8-1 総合相談対応件数

延件数	うち認知症 疑い有	内 訳				相談 実人員
		来所	電話	訪問・出張	その他	
7,785 件	2,813 件	595 件	5,381 件	1,504 件	305 件	935 人

別表 8-2 総合相談 内容内訳

内 容	件数
家族・家庭問題	129 件
経済・生活問題	2,604 件
介護サービスに関すること	2,102 件
介護予防サービスに関すること	1,190 件
介護予防事業に関すること	3 件
福祉サービスに関すること	119 件
保健・医療サービスに関すること	681 件
虐待に関すること	340 件
成年後見制度の活用に関すること	327 件
生きがいづくり	124 件
その他	166 件
計	7,785 件

別表 8-3 年間指定介護予防支援事業ケアプラン作成数（要支援1・2）

包括作成	月平均	一部委託	月平均	合計
130 件	10.8 件	6,206 件	517 件	6,336 件

※委託率97.9%

別表 9 老人福祉センター指定管理後の利用者の推移

	開館日数（日）								
年度	26	27	28	29	30	令元	令2	令3	令4
合計	293	294	292	293	292	264	245	249	293

	年間登録者数（人）								
年度	26	27	28	29	30	令元	令2	令3	令4
合計	510	546	540	480	466	418	264	252	245

	年間延利用者数（人）								
年度	26	27	28	29	30	令元	令2	令3	令4
合計	26,863	25,698	24,918	23,688	21,495	18,613	7,262	6,811	8,598

	1日平均（人）								
年度	26	27	28	29	30	令元	令2	令3	令4
合計	91.7	87.4	85.3	80.8	73.7	64.7	24.7	27.3	29.3